

第 4 次安城市男女共同参画プラン進捗管理シート(平成 30 年度)まとめ

(指標に目標値がある場合)

評価結果・・・A：目標値を達成
 B：目標値には達していないが実績値よりも改善
 C：実績値から横ばい
 D：実績値より後退

(指標に目標値がない場合)

A：活動が十分に実施・対応できた
 B：活動が概ね実施・対応できた
 C：活動を実施したが、積み残しが多い
 D：活動がほとんどできなかった

基本目標 1 男女平等意識の促進

基本目標 1 男女平等意識の促進

指標項目		2016	2018	2023	評価結果	
成果指標	社会通念・慣習・しきたりなどにおいて男女平等であると考えている市民の割合	女性	9.4%	—	11.7%	—
		男性	21.9%	—	23.3%	—
	「男は仕事、女は家庭」という考え方に賛成・どちらかといえば賛成の市民の割合	女性	26.3%	—	18.0%	—
		男性	33.9%	—	32.5%	—

施策	A	B	C	D
(1) 男女共同参画に関する啓発活動の展開	1	1		1
(2) 男女共同参画に関する学習機会の提供	1	2		
計	2	3	0	1

基本目標 2 若年者への男女平等意識の定着

指標項目		2016	2018	2023	評価結果	
成果指標	学校教育の場が男女平等であると考えている市民の割合	女性	56.0%	—	62.7%	—
		男性	61.0%	—	65.2%	—
	子どもは女らしさ、男らしさにとらわれず、個性を尊重するように育てたほうがよいと考える市民の割合	女性	73.5%	—	77.7%	—
		男性	66.0%	—	76.4%	—

施策	A	B	C	D
(1) 学校等における教育機会の充実	1	2	1	1
(2) 思いやり、認め合う意識の醸成		1		2
計	1	3	1	3

基本目標3 男女共同参画社会の実践

	指標項目	2016	2018	2023	評価結果
成果指標	法令・条例に基づく審議会等における女性委員の割合	27.4%	29.9%	30.4%	B
	市の管理的地位にある職員（課長補佐級以上）に占める女性職員の割合	11.6%	11.3%	17.0%	D
	市男性職員の育児休業等の取得率	81.3%	90.5%	85.0%	A

施策	A	B	C	D
(1) 女性のエンパワーメントへの支援	1	4	1	
(2) 職場における女性活躍の推進		4	1	1
(3) 家庭的責任をともに担うための環境整備	5	3	2	1
計	6	11	4	2

基本目標4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備

	指標項目	2016	2018	2023	評価結果
成果指標	町内会長に就く女性の割合	0.0%	2.5%	10.0%	B
	防災会議の女性の登用率	8.0%	13.8	30.0%	B
	保育園等への入園申込をした児童のうち、どこにも入園できなかった児童の人数	0人	19人	0人	D

施策	A	B	C	D
(1) 地域・市民活動や防災・防犯分野における参画促進	2	2		
(2) 性差を踏まえた健康づくりの推進	1		1	
(3) 参画を助ける環境の整備	3		1	1
計	6	2	2	1

基本目標5 人権の尊重とDVの根絶

	指標項目	2016	2018	2023	評価結果
成果指標	DV（配偶者からの暴力）の用語の認知度	81.2%	—	100%	—
	DV被害経験者のうち、「誰にも相談しなかった」ひとの割合	52.5%	—	50.6%	—

施策	A	B	C	D
(1) 多様性を認め合う社会環境の整備	5	4	2	
(2) DVの啓発と早期対応	4	6	2	
計	9	10	4	0

評価結果 集計

成 果 指 標	A	B	C	D	計
1 男女平等意識の促進	-	-	-	-	-
2 若年者への男女平等意識の定着	-	-	-	-	-
3 男女共同参画社会の実践	1	1		1	3
4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備		2		1	3
5 人権の尊重とDVの根絶	-	-	-	-	-
計	1	3	0	2	6

施 策	A	B	C	D	計	
1	(1) 男女共同参画に関する啓発活動の展開	1	1		1	3
	(2) 男女共同参画に関する学習機会の提供	1	2			3
2	(1) 学校等における教育機会の充実	1	2	1	1	5
	(2) 思いやり、認め合う意識の醸成		1		2	3
3	(1) 女性のエンパワーメントへの支援	1	4	1		6
	(2) 職場における女性活躍の推進		4	1	1	6
	(3) 家庭的責任をともに担うための環境整備	5	3	2	1	11
4	(1) 地域・市民活動や防災・防犯分野における参画促進	2	2			4
	(2) 性差を踏まえた健康づくりの推進	1		1		2
	(3) 参画を助ける環境の整備	3		1	1	5
5	(1) 多様性を認め合う社会環境の整備	5	4	2		11
	(2) DVの啓発と早期対応	4	6	2		12
計	24	29	11	7	71	